

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	利用者の身体的な限界や食事や水分摂取ができなくなる前段階を何処で判断して関係者と共有するのか。家族との共有認識を持つ書式等を整えることが望ましい。	全身状態を日々の生活支援の中で把握し変化を早期に知るバイタルチェックは勿論、表情・言動その他を観察する。家族への連絡を正しく行う。	1)食事水分摂取状況の観察やバイタルチェック+SPO2測定(肺機能も知る目安)。 2)主治医・家族への連絡を速やかに行う。救急要請した後の経過報告・対応を整備する 3)支援可能な限界について検討する。	6 か月
2	10	家族の面会時に意見を聞いているが、さらに多様な意見を把握するには、通い帳や書き易いアンケート方式などの工夫に期待したい。	家族の意見をより知る為に毎月「意見」が記入出来る書式を送る	1) 月初めに返信用封筒を入れ、アンケート及び意見を気楽に記入してもらえる様にして、連携を密に行きたい。	6 か月
3	4	民生委員や自治会長等の参加が得られていないので、運推進会議の意義を説明して会議に出席してもらおう取り組みに期待したい。	民生委員や自治会長の参加が得られるように努める。	1)本年度に1度、自治会長の参加を願い、来年度には協議会の賛同を得られるように努力し、参加依頼が出来るようにする。 2)運営推進会議の内容を協議会に説明する 3)民生委員にも同様に働きかけを行う	6 か月
4	49	歩ける人には買い物の機会があるが車椅子の人にも個別の外出支援が望ましい。広い前庭に出て土や草花に触れるなど工夫を期待したい。	出来る限り外出機会を設け、開放的な気分になれるよう支援して行きたい。	1)歩ける人には買い物時等には誘ったりして、出来るだけ外出するようにする 2)車椅子の人は前庭や屋上に出て、外の空気を吸える様にする(真夏真冬は無理せず) 3)草花については努力してみます	6 か月
5	35	消防署の立会い及び指導の下で年2回以上の防災・火災避難訓練を実施されたい。夜間を想定した自主訓練や住民参加の訓練も期待したい。	防災への意識を深め、訓練の回数を増やす努力や近所の住民の方々への説明・依頼を行って行く。	1)消防署に年2回の防災訓練協力を依頼する 2)夜間を想定した訓練は夜間勤務者に随時、昼食後に行っている。(1ト月2回位) 3)住民参加については催し物開催時に説明・協力を依頼する。ご近所3軒には特に詳しく	6 か月
6	54	物が少なく、支援し易い環境ではあるが、出来るだけ家族と話し合い、繁雑にならないように、馴染みの小物などを取り寄せ、安心して心地よく過ごせるよう、工夫を期待したい。	利用者・家族・職員と話し合っ、より快適で居心地の良い部屋作りを行う	1)知人や家族に言葉をかけて、馴染みの物等さがして頂いたりして、工夫してみたい。 2)日常生活の中で、利用者と共に装飾品等を製作してみる。(レクリエーションを兼ねて)	6 か月

